

世界史探究

指導目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養(かんよう)される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------	---

教材	教科書：「世界史探究」(東京書籍) 学習書：「世界史探究」(NHK出版) ネットレポート	レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全12回 必要時間数：1時間 (※面接指導減免6割の学習者は必要2時間) 全40回(テレビ WEB視聴可) 中間到達度チェック(9月)・年度末試験(1月)
----	--	----------------------------------	--

単位	4単位
評価	<p>【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価する。</p> <p>【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価する。</p> <p>【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況(提出期限)、スクーリング出席状況(必要時間の出席充足)、放送視聴状況にもとづき評価する。</p> <p>上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定する。</p>

添削指導(レポート)		面接指導(スクーリング)		放送(NHK高校講座)		オンライン指導		到達度チェック 年度末試験	
月	回(提出期限)	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容	内容・範囲
4			1	①「オリエンテーション」 学習をすすめる上での注意事項や世界史探究を学ぶ上でのウォーミングアップ	1	「世界史へのまなざし」	オリエンテーション(VOD) 科目の学習概要の説明		
			2						
				3	②「ギリシア世界とヘレニズム文化」 (第1回レポート) 古代ギリシアの市民社会、奴隷制度、文化などについて理解する。	2	「古代オリエント」		
				4		3	「古代ギリシア・ローマと地中海」		
5	第1回 (5月20日)	I.世界史へのまなざし II.古代オリエントの統一 III.古代ギリシアとヘレニズム世界 IV.ローマ帝国と地中海世界 V.古代末期の社会と地中海世界の解体	1	③「ローマ帝国と地中海世界」 (第1回レポート) ローマが都市国家から帝国へ拡大していく過程をつかむ。キリスト教の成立について理解する。	4	「古代の南アジア」			
			2		5	「古代の東南アジア」			
			3	④「古代インド文明の形成」 (第2回レポート) マウリヤ朝の成立から、クシャーナ朝の繁栄と、仏教の展開について理解を深める。ヒンドゥー教の成立にも注目する。	6	「古代の中国と中央ユーラシア」			
			4		7	「(探究1)古代文明の特質」			
6	第2回 (6月10日)	I.南アジアにおける国家形成 II.海の道の形成と東南アジア III.古代帝国の誕生 IV.中国の分裂と多様化	1	⑤「中国文明の形成」 (第2回レポート) 古代中国文明の特色を理解する。	9	「東ヨーロッパの成立」			
			2	秦が中国を統一した過程をつかみ、漢にいたる支配体制の変遷を理解する。	10	「西ヨーロッパの成立と変容」			
	第3回 (6月30日)	I.隋唐帝国と東アジア II.イスラーム世界の発展 III.中世初期の東西ヨーロッパ IV.中世西ヨーロッパ社会の展開	3	⑥「隋・唐と東アジア」 (第3回レポート) 隋と唐の繁栄を支えた支配体制と、国際的な文化について理解する。	11	「宋とモンゴル帝国」			
			4		12	「大交易の時代」			
7	第4回 (7月15日)	I.唐の崩壊後の東アジア II.モンゴル帝国 III.ポルトガルのアジア進出 IV.中央アジアと西アジアの繁栄 V.インドの大国ムガル帝国	1	⑦「中世西ヨーロッパ」 (第3回レポート) フランク王国とカトリック教会の影響力についてつかむ。	13	「西アジア・南アジアの諸帝国」			
			2		14	「清とユーラシア」			
				3	⑧「イスラーム世界の発展」 (第3回レポート) イスラームの考え方をつかむとともに、広大なイスラーム国家を築いた過程をつかむ。	15	「朝鮮王朝」		
				4		16	「ルネサンスと宗教改革」		
8			1	⑨「モンゴル帝国」 (第4回レポート) 遊牧民族特有の機動力を理解し、モンゴル帝国の拡大の過程をつかむ。	2				

	第5回 (8月25日)	I. 明と日本・朝鮮の動向 II. 清と東アジア III. 中世ヨーロッパ社会の再編 IV. ルネサンス	3 4	⑩「大交易時代」 (第4回レポート) ポルトガルとスペインのアジア・アメリカ進出について、その背景と交易の様子をつかむ。	17	「主権国家体制の形成」	オンラインサポート配信 中間到達度チェックに向けて 第2回～第4回レポート範囲復習	
9			1 2	⑪「明と清の繁栄」 (第5回レポート) 明と清の繁栄を支えた仕組みに注目するとともに、対外政策の特徴をつかむ。文化についても触れる。	18 19	「国際商業と大西洋三角貿易」 「(探究2) 諸地域の交流と再編を学んで」		
	第6回 (9月20日)	I. 主権国家群の形成と宗教改革 II. オランダの繁栄と英仏の国家形成 III. 商業覇権と植民地建設 IV. 啓蒙専制国家の発展	3 4	⑫「主権国家群の形成」 (第6回レポート) ヨーロッパ諸国がそれぞれどのような過程で主権国家としてまとまったかを理解する。	20 21	「産業革命と社会問題」 「アメリカ合衆国の独立とフランス革命」		中間到達度チェック 範囲：レポート第2回～第4回
10			1 2	⑬「アメリカ合衆国の独立」 (第7回レポート) イギリスとフランスの植民地争いを踏まえ、イギリス本国の圧力から13の植民地が独立した過程をつかむ。	22 23	「ヨーロッパと国民国家」 「アメリカ合衆国の発展」		
	第7回 (10月20日)	I. 産業革命と工業化 II. アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 III. フランス革命とウィーン体制 IV. 自由主義の台頭と新しい革命の波	3 4	⑭「フランス革命とウィーン体制」 (第7回レポート) フランス革命前の身分制社会を理解するとともに、革命が起こった背景と経緯をつかむ。革命後のヨーロッパ社会の変容にも注目する。	24 25 26	「19世紀の西・南・東南アジア諸地域」 「19世紀の東アジア諸地域」 「帝国主義と世界分割」		
11	第8回 (11月10日)	I. 南北アメリカの発展 II. 西アジアの危機と改革のはじまり III. 南アジア・東南アジアの植民地 IV. 清における開発の限界と二つのアヘン戦争 V. 清の体制転換と近代国家建設の模索	1 2	⑮「南北アメリカの発展」 (第8回レポート) 南北戦争が起きた背景とその後の各国への影響にも注目する。	27 28	「第一次世界大戦とロシア革命」 「戦間期の世界諸地域」		
			3 4	⑯「東アジアの変動」 (第8回レポート) 東アジア諸国が欧米の圧力を受けてどのように変容したのか理解する。	29 30	「大恐慌と第二次世界大戦」 「(探究3) 資料から歴史を考えよう」		
12	第9回 (12月5日)	I. 列強の覇権争い II. 第一次世界大戦 III. ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 IV. 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ V. アジア・アフリカでの国家形成の動き	1 2	⑰「世界を支配する国々」 (第9回レポート) 第2次産業革命が起こり、産業構造が変化する中で、欧米の帝国主義政策がどのようにすすんだかつかむ。	31 32	「冷戦構造の成立と展開」 「アジア、アフリカの脱植民地化」		
	第10回 (12月30日)	I. 世界恐慌と政治経済の変容 II. 第二次世界大戦の開戦と展開 III. 戦後秩序構想と冷戦の形成 IV. アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 V. 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」	3 4	⑱「第一次世界大戦」 (第9回レポート) 第一次世界大戦が起こった背景と経緯、長期化した要因を理解する。	33	「東アジアの現代史」	オンラインサポート配信 年度末試験に向けて 第6回～第8回レポート範囲復習	
1			1 2	⑲⑳「第二次世界大戦」 (第10回レポート) 第一次世界大戦後の国際関係を理解しながら、第二次世界大戦が起こった背景をつかみ、その犠牲についても理解する。	34 35	「パレスティナ問題と現代の中東」 「ヨーロッパの現代史とEU」		
			3 4		36 37	「アメリカ合衆国とラテンアメリカの現代史」 「ソ連、東欧の現代史と冷戦終結」		年度末試験 範囲：レポート第6回～第8回
2	第11回 (2月5日)	I. アジア諸国の独立と脱植民地化 II. 冷戦と政治・経済秩序 III. アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 IV. 平和共存と社会主義圏の多極化 V. アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容	1 2	㉑㉒「冷戦の展開と第三世界」 (第11回レポート) 第二次大戦後、冷戦が始まった背景をつかむ。また第三世界の国々の台頭についても理解する。	38 39	「経済のグローバル化」 「中国の台頭と多極化」		
	第12回 (2月20日)	I. 冷戦の変容と世界の諸地域 II. 冷戦の終結とその後の世界 III. アメリカ合衆国の復調とグローバル化	3 4		40	「(探究4) 地球的課題と世界史」		
3			1					
			2					
			3					
			4					